

令和５年度 第10回理事会

日 時：令和６年１月１２日（金）１５：３０～

場 所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室
（ウェブ会議併用）

I．報 告

- 1．令和６年度予算概算決定の概要について〔総合調整室〕
- 2．第17回国立研究開発法人協議会総会について（非公表）〔研究担当理事〕
- 3．令和５年度保険料収入及び保険金支払の実績（暫定値）について（非公表）
〔森林保険センター〕

II．その他

- 1．今後の主な会議・行事予定について
- 2．主要行事
- 3．森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

I - 1

理 事 会 資 料

令和 6 年 1 月 1 2 日

総 合 調 整 室

令和 6 年度予算概算決定の概要について

令和 6 年度予算案は、令和 5 年 1 2 月 2 2 日に閣議決定され、その概要は別紙のとおりです。

令和6年度 林野関係予算の概要

令和5年12月

区 分	5年度 予算額	6年度 概算決定額	5年度 補正追加額
	億円	億円	億円
公 共 事 業 費	1,979	1,982	1,077
(対前年度比)		100.1%	
一般公共事業費	1,875	1,877	745
(対前年度比)		100.1%	
治 山 事 業 費	623	624	268
(対前年度比)		100.1%	
森林整備事業費	1,252	1,254	477
(対前年度比)		100.1%	
災害復旧等事業費	104	105	332
(対前年度比)		100.6%	
非 公 共 事 業 費	1,077	1,021	323
(対前年度比)		94.8%	
合 計	3,057	3,003	1,401
(対前年度比)		98.2%	

(注) 1 林野公共関係予算の総合計は2,682億円

- ・林野公共事業(令和6年度当初): 1,877億円
- ・林野公共事業(令和5年度補正): 745億円
- ・路網の整備・機能強化対策(非公共(令和6年度当初・令和5年度補正)): 60億円

2 上記のほか、農山漁村地域整備交付金に、林野関係事業を措置している。

3 金額は、関係ベース。

4 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

令和6年度林野関係予算の重点事項

6年度当初予算 3,003億円

5年度補正予算 1,401億円

(※) 各事項の下段()内は、令和5年度当初予算額

I 食料の安定供給の確保

1 生産資材の確保・安定供給

【6年度当初】

【5年度補正】

① 燃油・資材の森林由来資源への転換等対策

(林業・木材産業循環成長対策のうち
木質バイオマス・特用林産物関係)

20億円

- ・燃油・資材の価格高騰に対応するため、きのこの生産施設の省エネ化や生産資材導入を支援するとともに、木質バイオマスの収集・運搬、木質燃料の製造・熱利用に向けた取組等を支援

3億円

(4億円)

Ⅱ カーボンニュートラルの実現等に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長

【6年度当初】

【5年度補正】

① 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

144億円

(林業・木材産業国際競争力強化総合対策)

(161億円)

458億円

(花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策)

60億円

- ・カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進

ア 林業・木材産業循環成長対策

64億円

126億円

(71億円)

- ・国産材供給体制の強化と森林資源の循環利用の確立に向け、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再生林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援

イ 林業デジタル・イノベーション総合対策

4億円

2億円

(6億円)

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する戦略拠点の構築等を支援

ウ 建築用木材供給・利用強化対策

10億円

18億円

(12億円)

- ・木質耐火部材やJAS構造材の建築物への利用実証・普及、大径材活用に向けた技術開発、JAS製材のサプライチェーンの構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やCLTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証等を支援

エ 木材需要の創出・輸出力強化対策**3億円****4億円**

(4億円)

- ・非住宅建築物における木材利用の促進、工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大等を支援

オ 森林・林業担い手育成総合対策**47億円****3億円**

(47億円)

- ・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生の林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策、森林経営管理制度を担う技術者の能力向上等の取組を支援

カ 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策**2億円**

(2億円)

- ・伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」の実現に向け、新たな技術の導入による経営モデルの構築等を支援

キ 林業・木材産業金融対策**4億円**

(6億円)

- ・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

ク 森林・山村地域振興対策**10億円**

(11億円)

- ・地域の活動組織や都市部との連携による里山林の保全管理や利用、国民参加の植樹の推進、新たな森林コンテンツの制作・普及に向けた取組、森林由来Jークレジット創出・活用に向けた取組等を推進

② 花粉症解決に向けた緊急総合対策＜一部公共＞

60億円

(林業・木材産業国際競争力強化総合対策)

458億円の内数

- ・10年後に花粉発生源となるスギ人工林を2割減少させることを目指し、花粉が多いシーズンでも現在の平年並みの花粉量までとなるよう、花粉症対策初期集中対応パッケージに掲げられた、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、スギ花粉飛散量の予測・スギ花粉の飛散防止の取組を推進

③ 森林整備事業＜公共＞

1,254億円

477億円

(1,252億円)

- ・森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けた間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等の推進に加え、花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進

④ 治山事業＜公共＞

624億円

268億円

(623億円)

- ・豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、流木対策や機能強化対策の充実、流域治水との連携拡大など、国土強靱化に向けた取組等を推進

⑤ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞

770億円

(774億円)

- ・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

Ⅲ 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

(1) 防災・減災、国土強靱化の推進

【6年度当初】

【5年度補正】

① 治山施設の設置等による対策＜公共＞

268億円

- ・豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、山地災害危険地区や氾濫した河川上流域等において、流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を推進

② 森林整備による対策＜公共＞

172億円

- ・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、道路など重要なインフラ施設周辺や氾濫した河川上流域等での間伐、再造林、幹線となる林道の開設・改良等の対策を推進

(2) 令和5年5月から7月までの豪雨等による災害被害の復旧・復興

① 災害復旧等事業＜公共＞

105億円

332億円

(104億円)

- ・被災した治山施設、林道施設等の速やかな復旧等を実施・支援

国立研究開発法人森林研究・整備機構 研究・育種勘定運営費交付金（継続）

【令和6年度予算概算決定額 10,258,867（10,200,430）千円】

<対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等を行うことにより、森林の多面的機能の発揮や林業技術の向上を図ります。

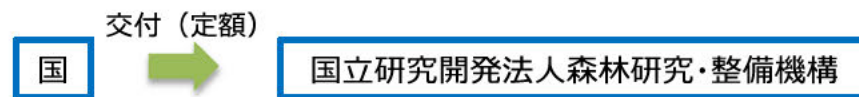
<事業目標>

- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標の達成。

<事業の内容>

- （国研）森林研究・整備機構は、**森林及び林業に関する総合的な試験・研究等**を行うことにより、森林の保続培養を図るとともに、林業に関する技術の向上に寄与し、もって**林業の振興と森林の有する公益的機能の維持増進に資する**ことを目的として設置されています。
- （国研）森林研究・整備機構の**第5期中長期目標を達成するため、森林・林業分野における行政課題に対応した試験研究を実施**します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

森林研究・整備機構の試験・研究課題（第5期中長期目標）と取組事例

(1) 環境変動下での森林の多面的機能の発揮に向けた研究開発



降雨遮断による土壌乾燥実験

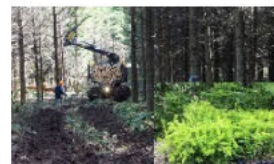


山地災害リスクの低減機能評価



保残伐（群状保残区）

(2) 森林資源の活用による循環型社会の実現と山村振興に資する研究開発



コンテナ苗の植え付け



国産トリュフ



木造高層ビル

(3) 多様な森林の造成・保全と持続的資源利用に貢献する林木育種



用土不要の発根技術開発



環境制御による育成期間短縮



エリートツリー（植栽後4年：樹高6m）

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-6744-2312）

国立研究開発法人森林研究・整備機構 施設整備費補助金（継続）

【令和6年度予算概算決定額 235,417（313,739）千円】

<対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等に必要な施設の改善等を行うことにより、これらの業務の円滑な実施を図ります。

<事業目標>

- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標の達成。

<事業の内容>

（国研）森林研究・整備機構の業務の適切かつ効率的な実施及び職員の安全の確保のため、**中長期計画に基づいて業務運営に必要な次の施設の整備**を行います。

○ エネルギーセンター部分改修

森林総合研究所研究本館の空調設備を、従来の中央熱源方式から個別熱源方式へ部分的に切り替えることにより、熱エネルギーロスを低減し、光熱費の削減等を図ります。

○ 東北支所鳥獣実験室浄化槽更新

老朽化した東北支所鳥獣実験室浄化槽（単独処理浄化槽）を、合併処理浄化槽へ更新するための設計を行います。

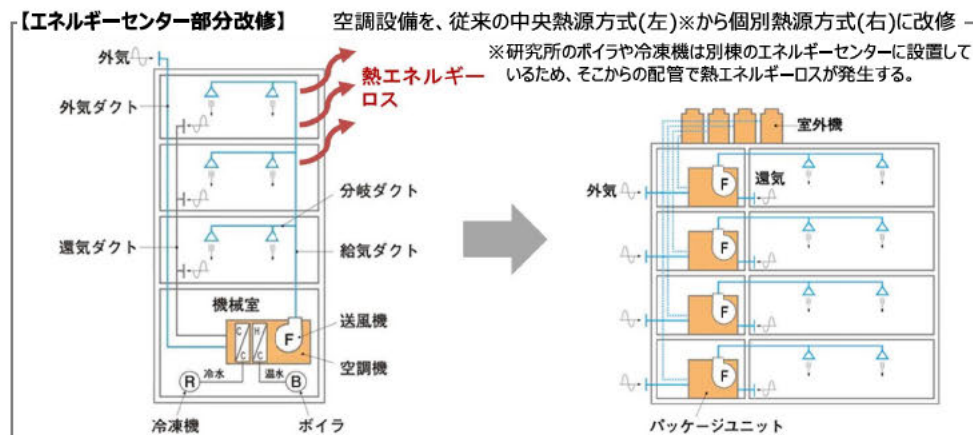
○ 多摩森林科学園森の科学館外壁等改修

経年による老朽化が著しい多摩森林科学園森の科学館において、特に腐朽等の劣化が甚だしい外壁等の改修を行います。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【多摩森林科学園森の科学館外装等改修】



【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-6744-2312）

林業・木材産業循環成長対策のうち
原種苗木増産施設等整備（施設整備費補助金）

【令和6年度予算概算決定額 189,000千円】

<対策のポイント>

花粉症対策に必要な花粉の少ない苗木の生産拡大に向け、原種苗木の増産に必要な施設の整備を行います。

<事業の内容>

<事業イメージ>

○冷蔵保存庫の整備

花粉の少ない苗木（原種苗木）の増産を行う原種増産施設で生産した原種苗木を、低温保存する施設を新設します。

【林木育種センター本所、関西育種場、九州育種場】

○ 原種増産施設



○ 冷蔵保存庫



○遺伝資源組換実験棟閉鎖型温室改修

ゲノム編集により無花粉品種を短期間で開発する実験棟を部分改修します。

【林木育種センター本所】

○ 遺伝資源組替実験棟



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-6744-2312）

うち、25,297(25,273)百万円
(令和5年補正予算額 うち 4,380百万円)

森林整備事業<公共>

【令和6年度予算概算決定額 125,370(125,249)百万円】
(令和5年度補正予算額 47,701百万円)

<対策のポイント>

花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けて、間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等を着実に推進します。

<事業目標>

- 森林吸収量の確保に向けた間伐の実施(45万ha[令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均])
- スギ花粉の発生量の削減(令和2年度比 約2割削減[令和15年度まで]、5割削減[令和35年度まで])

<事業の内容>

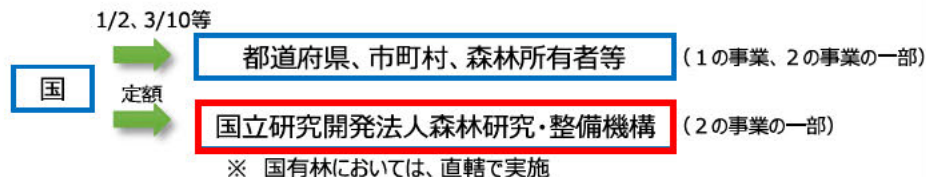
1. 間伐や再造林、路網整備等

- ① 花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進めます。
- ② 林業適地等における林道の開設・改良等を支援します。
- ③ 林道整備と併せて行う幅員が狭い農道の一体的な改良を支援します。

2. 豪雨・台風等による被害を受けた森林等の整備、林道の強靱化

- ① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、重要インフラ施設周辺の森林等について、公的主体による復旧・整備を推進します。
- ② 防災上重要な幹線林道の開設・改良や林道施設の老朽化対策を支援し、林道の強靱化を推進します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

間伐や再造林、路網整備等

<林業適地等における対応>

低コスト造林による
再造林面積の確保

路網整備の推進に
より再造林等を後押し

森林資源の
適正な管理

公益的機能の持続的発揮

●花粉発生源対策

スギ人工林において伐採・植替えの一貫作業等を支援



一貫作業の実施

●林道整備と併せて行う農道改良

大型トラック等が通行できない林道手前の農道を、林道整備と併せて改良



幅員が狭い箇所

豪雨・台風等による被害を受けた森林等の整備、林道の強靱化

重要インフラ施設周辺の森林や奥地水源林等について、公的主体による復旧・整備を推進

防災上重要な幹線林道の開設・改良等による林道の強靱化



道路に近接する森林



奥地水源林

法面の整備等による防災機能の強化

【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)

森林整備事業（公共）【復興対策】

うち、182（194）百万円

【令和6年度予算概算決定額 3,991（4,413）百万円】

<対策のポイント>

放射性物質の影響を受けた地域における森林・林業の再生に向け、**放射性物質を含む土砂の流出防止を図るための間伐・路網整備等を推進**します。

<政策目標>

土壌を保持する能力等が良好に保たれている森林の割合の増加

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 災害に強い森林づくり

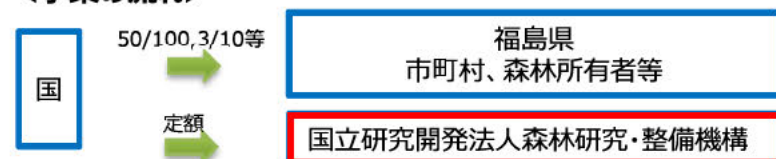
特用林産物の出荷制限地域を含む市町村において、森林所有者等が行う**放射性物質対策と一体となった間伐・路網整備等を推進**します（災害に強い森林づくりでは、**林業専用道の開設等**が実施できます）。

特に、避難指示区域が解除された市町村を中心に効率的な路網計画策定のための航空レーザー計測や路網の開設等を重点的に実施します。

2. 汚染状況重点調査地域等森林整備事業（公的主体による間伐等）

汚染状況重点調査地域等において、放射性物質の影響等で所有者自らでは整備が進めがたい森林について、**県・市町村の公的主体による間伐・路網整備等を推進**します（ふくしま森林再生事業は本事業を活用して実施します）。

<事業の流れ>



※このほか国有林における直轄事業を実施



【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-6744-2303）

幹線林道事業移行円滑化対策交付金（継続）

【令和6年度予算概算決定額 52,020（57,801）千円】

＜対策のポイント＞

平成20年4月1日に緑資源機構が解散し、緑資源幹線林道事業も廃止したことに伴い、業務を承継した国立研究開発法人森林研究・整備機構において既設幹線林道に係る賦課金等の徴収、借入金の償還を円滑に進める必要があります。

＜事業目標＞

既設幹線林道に係る賦課金等の円滑な徴収、借入金の償還

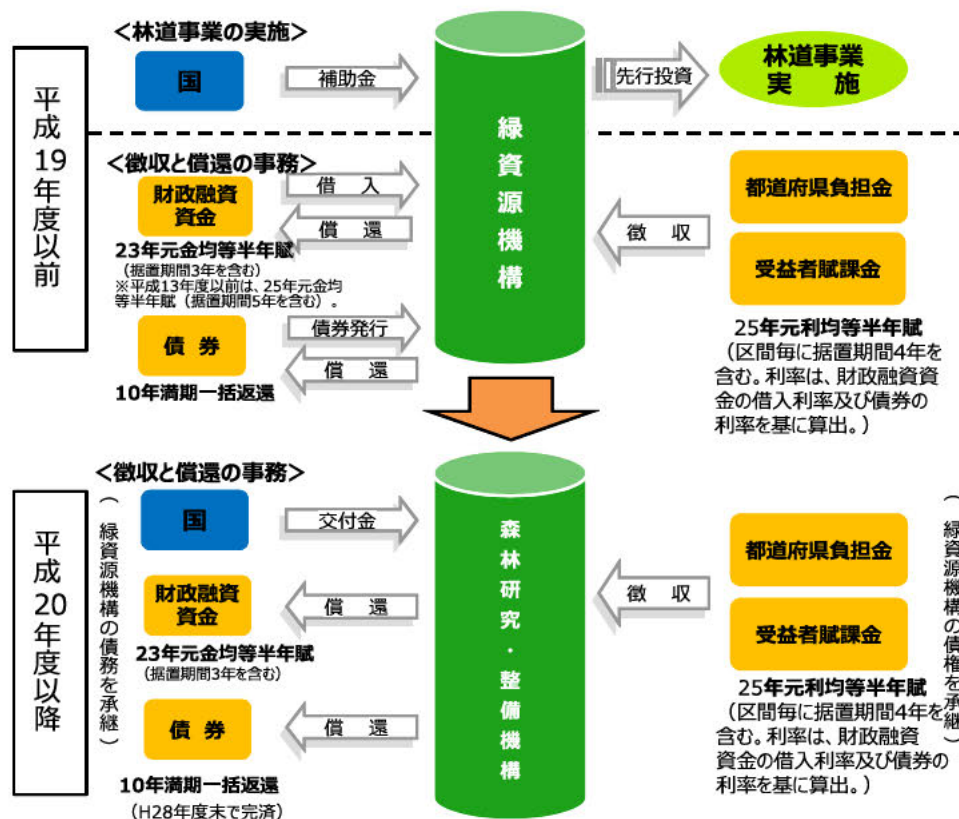
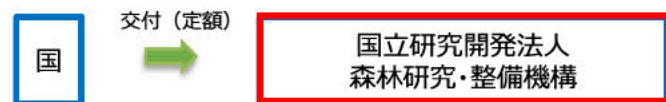
＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

○ 賦課金等の徴収のための事務費

国立研究開発法人森林研究・整備機構における既設幹線林道に係る賦課金・負担金の徴収に係る事務費を措置します。

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-3581-1032）

放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業（継続）

うち、33,086（33,086）千円

【令和6年度予算概算決定額 3,678,955（3,734,485）千円】

<対策のポイント>

被災地の森林・林業の再生を図るため、森林内における放射性物質の実態の把握、ほだ木等原木林再生のための実証、森林整備の実施に際して必要な放射線量の概況調査、放射性物質の移動抑制対策等を実施します。

<事業目標>

森林・林業の再生を通じた被災地の復興

<事業の内容>

1. 森林内における放射性物質の実態把握

171,096千円

- 森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、樹冠部から土壌中まで階層ごとの放射性物質の分布状況等の調査・解析を実施します。

2. 森林・林業再生に向けた実証等

2,129,632千円

① 避難指示解除区域等における実証

避難指示解除区域等において、地域住民の帰還と林業の再生を円滑に進められるよう、森林施策が放射性物質の動態に与える影響等の検証や実証事業を実施します。

② ほだ木等原木林再生のための実証

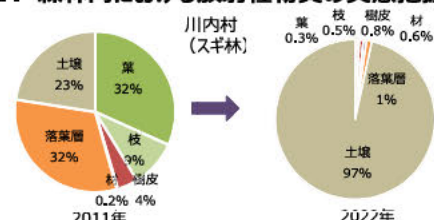
放射性物質の影響を受けている里山・広葉樹林の計画的な再生に向けた実証的な取組を実施します（「里山・広葉樹林再生プロジェクト」は本事業を活用して実施します）。

③ 情報の収集・整理と情報発信等

森林・林業の再生に向けた情報の収集・整理と情報発信等を実施します。

<事業イメージ>

1. 森林内における放射性物質の実態把握



樹木に沈着した放射性セシウムは雨による溶脱や落葉などで地表へ移動し、森林内の分布は11年間で大きく変化。



土壌等の濃度測定

2. 森林・林業再生に向けた実証等

① 避難指示解除区域等における実証



間伐等の影響検討



リターの蓄積量把握

③ 情報の収集・整理と情報発信等



シンポジウム



企画展示

② ほだ木等原木林再生のための実証



原木林の成林



伐採後のぼう芽更新

伐採及びぼう芽更新等の濃度測定による再生実証「里山・広葉樹林再生プロジェクト」の推進

< 事業の内容 >

3. 放射性物質対処型林業再生対策

1,378,227千円

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策

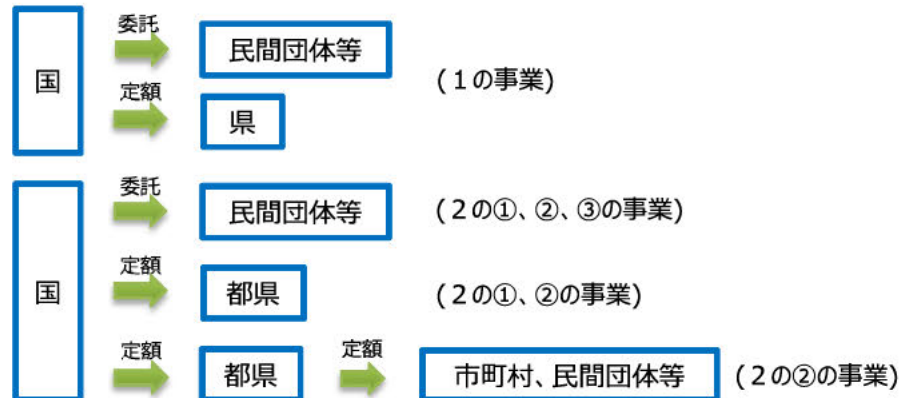
事業地を選定するための汚染状況重点調査地域等の森林の放射線量等の概況調査、作業計画の検討を行うための事業対象森林の調査、森林所有者等への説明・同意取付等を実施します。

また、放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等、森林整備を実施する際に必要な放射性物質対策を実施します（「ふくしま森林再生事業」は本事業を活用して実施します）。

② 里山再生事業

住居周辺の里山において、住民の安全・安心の確保に資するため、環境省・復興庁による除染・線量測定の実施と連携して森林整備を実施します。

< 事業の流れ >



※一部は国有林による直轄事業

< 事業イメージ >

3. 放射性物質対処型林業再生対策

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策



放射線量等の概況調査等



関係者の同意取付

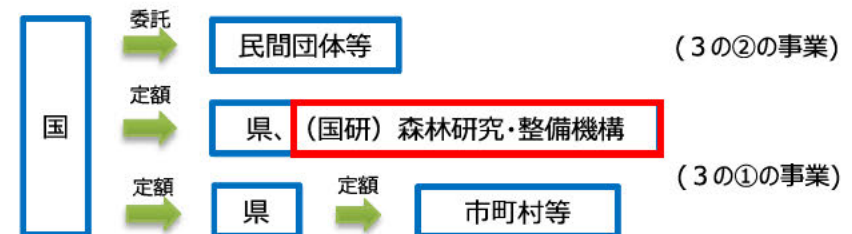


移動抑制対策(筋工)

② 里山再生事業



自然観察園（スギ、アカマツ等の間伐）



※ 3 ①の一部は国有林による直轄事業

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-6744-9530)
業務課 (03-3503-2038)

Ⅱ－1

令和6年1月理事会資料
国立研究開発法人
森林研究・整備機構

今後の主な会議・行事予定について

日 付	研究	整備	保険	行 事 名	場 所 等
1月12日～ 13日	○	○	○	WOODコレクション（モクコレ）2024	東京ビッグサイト 西1・2ホール （主催：WOODコレクション実行委員会、ブース出展：森林研究・整備機構）
1月22日	○			木材利用シンポジウム2024 in 高知	高知大学 メディアホール （共催：四国支所、四国土木木材利用研究会、国立大学法人高知大学防災推進センター、（公社）高知県土木施工管理技士会）
2月1日	○			令和5年度林木育種成果発表会	林木育種センター（オンライン開催） （主催：林木育種センター）
2月6日	○			四国地域評議会	四国支所 （主催：四国支所）
2月7日	○			令和5年度 岩手県林業技術センター・森林総合研究所東北支所・林木育種センター東北育種場合同成果報告会	プラザおでって（盛岡市） （主催：岩手県林業技術センター、東北支所、東北育種場）
2月8日	○			関西地域評議会	関西支所 （主催：関西支所）
2月13日	○	○		北海道地域研究成果発表会	共済ホール（札幌市） （共催：北海道支所、北海道育種場、北海道水源林整備事務所）
2月15日	○	○		東北地域評議会	東北支所 （主催：東北支所、東北育種場）
2月22日	○	○		北海道地域評議会	北海道支所 （主催：北海道支所、北海道育種場）

令和6年1月理事会資料
国立研究開発法人
森林研究・整備機構

主要行事（令和5年12月8日～令和6年1月12日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
12月8日(金)	【共】理事会	理事長、各理事、両監事
15日(金)	【研・育】ハラスメント研修(管理職等以外の職員を対象)	
19日(火)	【共】契約監視委員会	企画・総務・森林保険担当理事
21日(木)	第17回国研協総会(WEB)	理事長、研究担当理事
〃	【研】講演会「人の生活圏で発生するナラ枯れ被害に対する取り組み」	理事長、研究担当理事
22日(金)	【共】監査法人とのディスカッション	理事長、各理事、両監事
25日(月)	気候変動シンポジウム(WEB)	研究担当理事
1月9日(火)	庁議	理事長
〃	【育】入所式	育種事業・森林バイオ担当理事
11日(木)	WOODコレクション(モクコレ)2024	企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事、鈴木監事

※【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 前月以降公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	スギの花粉形成遺伝子をゲノム編集して無花粉スギを作成	ニグチミツル 西口 満 樹木分子遺伝研究領域	Scientific Reports	2023年7月	
2	針葉樹天然林をスギ人工林に転換すると土壌無機態窒素が増加する	イナガキ ヨシユキ 稲垣 善之 四国支所	Applied Soil Ecology	2023年11月	
3	国産の黒トリュフを人工的に発生させることに成功しました	ヤマナカ タクシ 山中 高史 東北支所	—	—	プレスリリース
4	モモンガの生息地になるスギ人工林 —人工林を活用して希少な動物の保全を目指す—	ススキ ケイ 鈴木 圭 九州支所	Journal of Vertebrate Biology	2023年9月	プレスリリース
5	バイカル地域での現生人類の拡散時期と要因を解明 —温暖化は森林ステップの拡大と人の移動定着をもたらした—	シチコウジ 志知 幸治 四国支所	Science Advances	2023年9月	プレスリリース
6	天然更新のヒノキ林、伐採後の下層木の損傷状態が推定可能に	オオツカダイ 大塚 大 林業工学研究領域	International Journal of Forest Engineering	2023年4月	
7	熱帯林の土壌の炭素と窒素の動きには異なる要因が関与—安定同位体分析から明らかに—	トリヤマ ジュンペイ 鳥山 淳平 九州支所	Plant and Soil	2023年5月	
8	南大東島定着のモズ、本土から繰り返し移住し多様な遺伝子維持	アオキ ダイスケ 青木 大輔 野生動物研究領域	Biological Journal of the Linnean Society	2023年9月	
9	南国樹木に脅威の「南根腐病」、根よりも先に葉に影響	ヤザキ ケンイチ 矢崎 健一 北海道支所	European Journal of Plant Pathology	2023年8月	

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	WOODコレクション(モクコレ) 2024「その気づきが、未来を創る。」に出展します	森林総合研究所 企画部広報普及科 広報係	主催:東京都(WOODコレクション実行委員会) 後援:林野庁、(一社)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、(公社)国土緑化推進機構、(公社)経済同友会	東京ビッグサイト 西1・2ホール 及びオンライン	1月11日(木)～ 1月12日(金)	
2	森林技術国際展開支援事業 令和5年度国際セミナー「森林による防災・減災技術の国際展開」	森林総合研究所 REDDプラス・海外森林 防災研究開発センター	森林総合研究所	TKPガーデンシティ PREMIUM神保町 プレミアムボールルーム またはオンライン (Zoomウェビナー)によるハイブリッド形式	1月31日(水) 13:00～17:00 (開場12:30)	